

Hunter 通信 Vol,4 2021/8/2



知多半島に住む訪れるすべての人へ 健康と福祉を！

生きづらさを 自信に変える

令和3年度 独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成
「コロナ禍で声をあげにくい人々が、相利共生にて
自信を取り戻す事業」 受託実施中

ウィズコロナを見据えた支援

コロナ禍における様々な制約は、ひきこもりに苦悶する人を始め、これまでに社会と寸断されがちな状況にあった人々を、より窮地へと追い立てる状況を作り出しています。

そのような中、ハンターズは感染対策の下、その人が自信を保つ・取り戻す活動を実施しています。

目に見える共助は、自助力をより高める

Aさんは日頃、家族以外の他者と関わりを持つ機会が乏しい一方、ご自身の特技(調理)を通じて、ご家族に貢献しています。

そこで、ハンターズは昼食作り補助を担い、Aさんの孤独感を和らげると共に、本来持っている



しゃる調理技術を、如何なく発揮いただく機会を創出しています。

その人が持つストレングスを活かす



先日、知多市にお住まいのご家族から、「庭の草取りがなかなか進まなくて…」という困りごとを受け、就労が目標であるBさんとお邪魔してきました。

Bさんは、細分化した作業であれば、それをひとつずつ确实・丁寧、かつ一生懸命取り組むことができます。

その人が持つストレングス(強み=興味・特技)を活かす。ハンターズは、どんな人であっても、その人が持つ強みを探し出し、発揮いただく機会を提供しています。

ちたびと vol.4

大善院 かのんいち 守山昌範さん 守山華子さん

今回は、常滑市にて、SDGs が広く知られるようになる前から、持続可能な「祭り」かのんいちの探求を続ける守山さんご夫婦です。

人が繋がり続ける、その秘訣とは…。

今年で5年目 かのんいち

熊倉：今では、地元の方々に知られるかのんいち。そもそもの始まりはどんなところから…？

守山(昌)：杲見さん(大善院住職)と以前、今後のお寺の在り方について、話したことがありました。

今のお寺は、昔と違って敷居が高くなってないか。それならば、開かれた場所というひとつとして、大善院でお祭りをやってみようかと。

熊倉：当時、協力いただける人をどのように募ったのですか？

守山(昌)：最初は、名古屋で自然食品のお店や、鍼灸師をやっている友人などに、出店を依頼しました。日頃、僕たちが和太鼓を教えている皆さんに、披露がてら出演も働きかけました。

守山(華)：集客も意識しましたね。ポイントは、目玉のイベントかなと考えて、音楽をやる人だったり私たちがおもしろい、観て欲しいと思う人に声をかけたり。

守山(昌)：その後、2016(H28)年3月に第一回目となり、その時は杲見さんの青空法話と和太鼓演奏がメインでした。



最初の1年は毎月。2年目からは隔月の奇数月に開催。今年で5年目となります。

人やモノが出会うべくして出会う

熊倉：かのんいちで、大切にしていることって、どんなところでしょう？

守山(華)：人やモノが出会うべくして出会う。偶然だけど必然だった。そのような人の繋がりと良いですね。それと、私たちが「力を抜いて」も来ていただけるお祭り。力を抜いてこそ続いていく持続可能なお祭りです。

熊倉：すごい！SDGs¹が世の中に周知される前から、既に持続可能に着目していたのですね！

守山(華)：転機は、アースデイ名古屋の実行委員を2年間(2014年-15年)に渡って担った時でした。当時、出店が200ほどあり、私たちは、それらのお店の代理として、役所と折衝・仲介を担う中、運営の大変さを痛感しました。

¹ Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。2015年国連にて採択。

地球上に住む私たちひとりひとりが、17ある目標の下で、169の具体策を2030年までに実行する。



熊倉：それは、ボランティアの枠を軽々と超えている…(苦笑)。

守山(華)：この活動は、普段の仕事に加えてだったので、「仕事でもないのに、なんでここまで…」という気持ちがありました。だから、かんのんいちは、できる限り力を抜いてこうと(笑)。

守山(昌)：COP10(生物多様性条約第10回締約国会議/2010年)に参加したことも大きかったです。

緩さは覚悟

熊倉：日頃、お二人の取り組みを折々で拝見します。先ほどの「力を抜いて」とのお話。具体的にはどんな所を削ぎ落しているのかしら？

守山(華)：広報は手を抜いています(笑)。お知らせは、「広報とこなめ」、フェイスブックくらいです。

守山(昌)：フェイスブックも、僕たちが関わるのはお店の名前を出すくらいです。詳細は、各お店の人が自

ら行っていただいています。これが今では、かんのんいちを皆で作っているという雰囲気づくりに役立っています。

熊倉：昨年、今年とコロナ禍にて、社会の雰囲気が随分変わりました。かんのんいちのこれから、どのように展望されてますか？

守山(昌)：僕たちは、小さなイベントをコツコツ続けていきたいです。それと、今夏以降、隔月開催のかんのんいちを、毎月開催に戻そうかなとも検討しています。

熊倉：それは手抜きとは正反対(笑)？

守山(華)：偶数月は、主催したい人がやる。私たちは、場所だけを提供する形です。かんのんいちの縮小版ではない、また違った新しい催しが目標です。

守山(昌)：出店者も「子ども限定」「男性限定」「女性限定」(笑)。全く別の企画でも良い。むしろそれが良いなと思っています。

熊倉：伺っているだけでも、楽しい催しになりそうですねー。

守山(華)：私たちの「緩さ」は、人との出会いや繋がりを、続けていく覚悟でもあります。誰かに言われたからやるのではなく、私たち自身が楽しんで取り組む。そのためのお会いを、これからも努めていきたいと思っています。

取材後記

お二人の人脈は、長きに渡ってコツコツと続けてきた、まさに持続可能な人づきあいでした。「手を抜く」「緩く繋がる」という二人の言葉。しかしそこには、「怠惰」という意味はなく、覚悟をもって他者に委ねるといふ、勇気がありました。

日頃から、お二人の地道な活動を見ている、見て来た周囲の人々が、「昌範君、華ちゃんのためにひと役担おう、担いたい！」と、自ら協力する能動や拡がり。

その辺りが、少し見えた気がしています。

ハンターズは、お二人はじめ、かんのんいちメンバーのお力添えの下、11月に企画を催します。乞うご期待です！(熊倉)

♪ 🎸 🎤 🎹 🎸 🎸 **coming soon** 🎸 🎸 🎤 🎸 🎸

生きづらさは 見えない Rock 'n' Roll !

～ 生きづらさ 解放せよ ～

とき： 令和3年11月6日(土) 13時～
ところ： 補陀落山 大善院
(知多四国霊場六十三番札所)
テーマ： 生きづらさをロックしよう！
内容： 鋭意考案中
参加費： 無料

企画・運営 大善院かんのんいち ちたハンターズ

ハンターズ サポーター(会員)を募集中！

我が国の法制度のすきまを埋める、ハンターズの活動を応援くださる皆様を募っています。アナタの気持ちが私たちの力となります。よろしくお願い申し上げます！

出資金(会費) ひと口1,000円～

振込先口座：三菱UFJ銀行 武豊支店 普通 3576908

クマクラジュンイチ

非営利任意団体 Chita Hunters(ちた ハンターズ)

〒479-0821 愛知県常滑市瀬木町 2-80

電話：090-8732-1515(月～金 9時～18時)Eメール：freedom225@xj.commufa.jp

ホームページ：<https://chita-hunters.wixsite.com/chitahunters>